

用水路に何がいるかな？

東岡屋 ドジョウうじゃうじゃ



田んぼの周囲の農業用水路で生き物探しに興じる東岡屋の住民たち。丹波篠山市東岡屋で（提供）

東岡屋ファーマーズ倶楽部と東岡屋子供会がこのほど、同集落の農業用水路に生息する生き物を調べた。子どもたちに、

身近な場所にたくさん生き物がくらしていることを知ってもらおうと企画。子どもとその保護者ら計35人が参加し、たも網を手に水路の中をさがごとと探った。

講師は、篠山東雲高校理科教諭の さんと、同校自然科学部の生徒の計8人が務めた。調査した水路は、コンクリートの三面張りではない、定期的に草刈りや泥上げが必要な昔ながらの水路で、幅約1.5、水深約30センチ、約100坪の区間で調査を行った。子どもたちは最初こ

2023年8月3日

丹波新聞

そ、両岸に草が茂る水路の中を恐る恐るのぞき込んでいたが、生き物の気配を感じ取ると、手にしたたも網を何度も水路の茂みの中に入った。捕獲を試みた。見事、網の中に生き物が入ると、「捕ったでー」と歓声を上げていた。アカハライモリを見つけた子どもなどは、気味悪がる親を横目に、エイヤツとわしづかみにし、友だちと見せ合って得意げだった。捕まえた生き物は水を張った容器に種類ごとに分け、 さんや生徒たちが同定を行った。大量にドジョウやオタマジャクシが捕れたほか、ヌマエビやスジエビ、コオイムシ、トンボの幼虫（やご）など合わせて17種類の生き物を確認した。同倶楽部は4年前に結成。農地を守っていかると、メンバー12人で休耕田23ヶ所を活用して水稲や黒大豆、粟などを栽培している。 代表の さんは、「田んぼの周囲にはいろんな生き物が生息し、それぞれが関係性をもちながら、人間と同居していることに気づいてくれたら」と願っていた。